

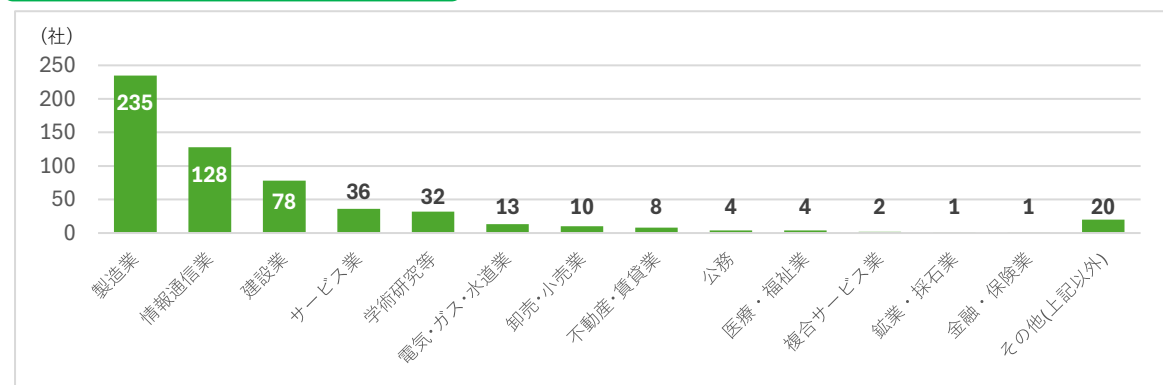
卒業生・修了生の評価等に関する企業の意識調査（概要版）

令和6年2月（2024年2月）
東京都立大学法人 東京都立産業技術高等専門学校

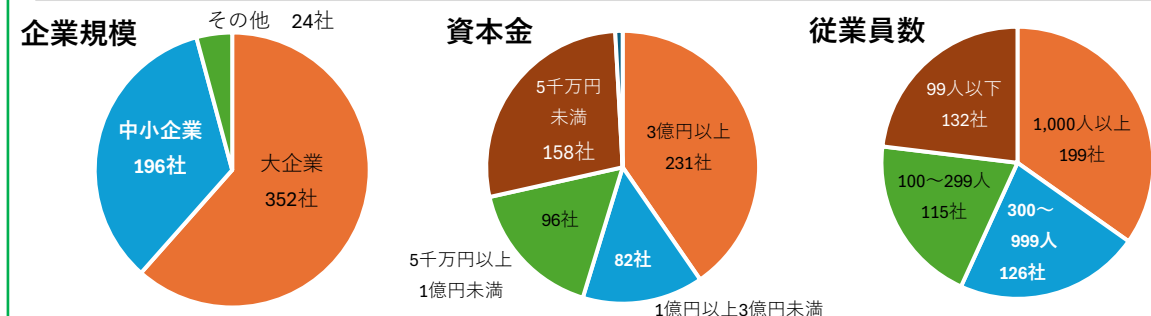
調査概要

- 【調査目的】企業から見た東京都立産業技術高等専門学校（以下「本校」）の卒業生・修了生に対する評価や要望を把握し、本校卒業生・修了生の優位点や強化すべき点などを知ることで、教育方針及び経営戦略検討の基礎資料とする
- 【調査対象】2019～2023年度に、本校両キャンパスのキャリア支援センターへ求人票を提出した企業
- 【調査手法】Microsoft Formsを用いたwebアンケート
- 【回収結果】発送数：1,793社 回答数：572社（採用実績のない企業も含む） 回収率：31.9%
- 【調査期間】2023年11月～12月
- 【調査結果の比較先】2017年度調査

回答企業のプロフィール

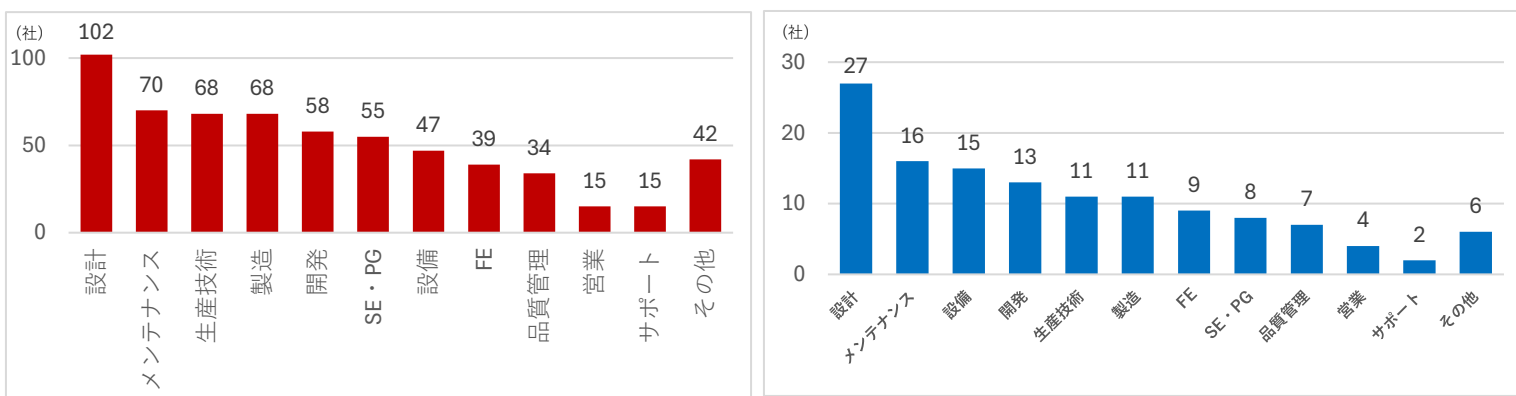


- 回答いただいた企業の業種の上位3位は「製造業」「情報通信業」「建設業」であり、これらで全体の7割を占める
- 資本金では「3億円以上」が全体の4割、従業員数では「1,000名以上」が全体の3割を占める結果となり、企業規模では「大企業」が全体の6割を占める結果となった。



卒業生・修了生の採用職種

- ▶幅広い職種での採用実績の中、設計とメンテナンス職は変わらず上位2位
- ※複数回答可のため合計は回答社数を超える

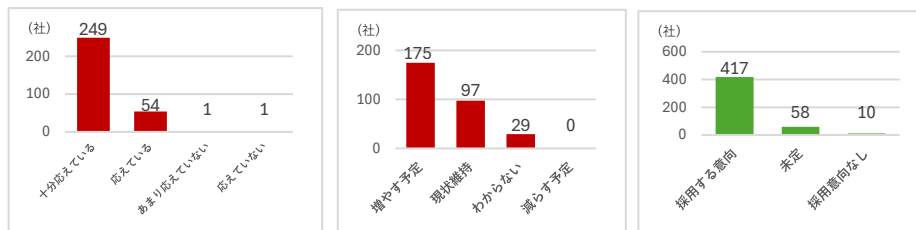


- 本科卒業生の採用職種の上位3位は順に「設計」「メンテナンス」「生産技術（同率で製造）」となり、これらは全て2割以上の回答を得ている。専攻科終了生の採用職種の上位3位は順に「設計」「メンテナンス」「設備」である。卒業生・修了生とも、約1／3の企業が「設計」職での採用を行っている

今後の採用意向

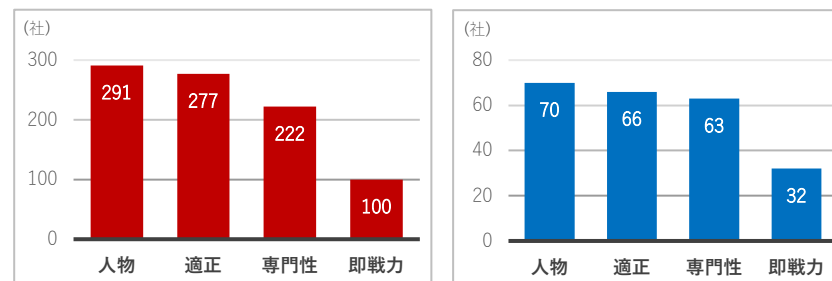
- ▶期待に応える人材の供給で、高い水準で採用意向を維持

- 本科卒業生に対するニーズや期待の評価では「応えている」が全体の9割を占める
- 採用意向については、本科卒業生は5割、専攻科修了生については7割以上が「増やす意向がある」と回答があった
- 今回調査は2017年と概ね同様の結果であった



採用にあたり重視した点

- ▶即戦力よりも人物や職務適正を重視

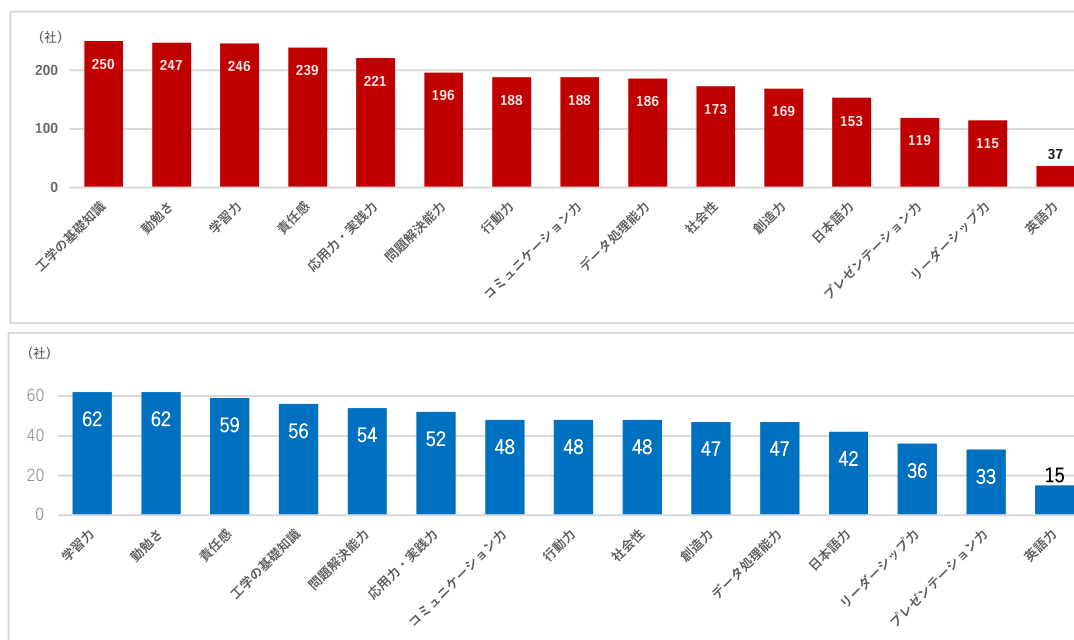


- 本科卒業生の採用で重視した点は、順に「人物（協調性・積極性）」「職務への適正」「専門分野の知識や学力」「即戦力であること」であり、専攻科修了生も同様である
- これは2017年度調査でも同様の傾向にあり、高専卒業生(修了生)は「即戦力である」ことは当然であり、その上で人物や適性が問われているのではないかと考える

※各項目で「大いに重視」「重視」と回答のあった会社数の合計

卒業生・修了生に対する評価

- ▶専門知識に加え、自律人材(勤勉さ、責任感等)が求められる傾向に

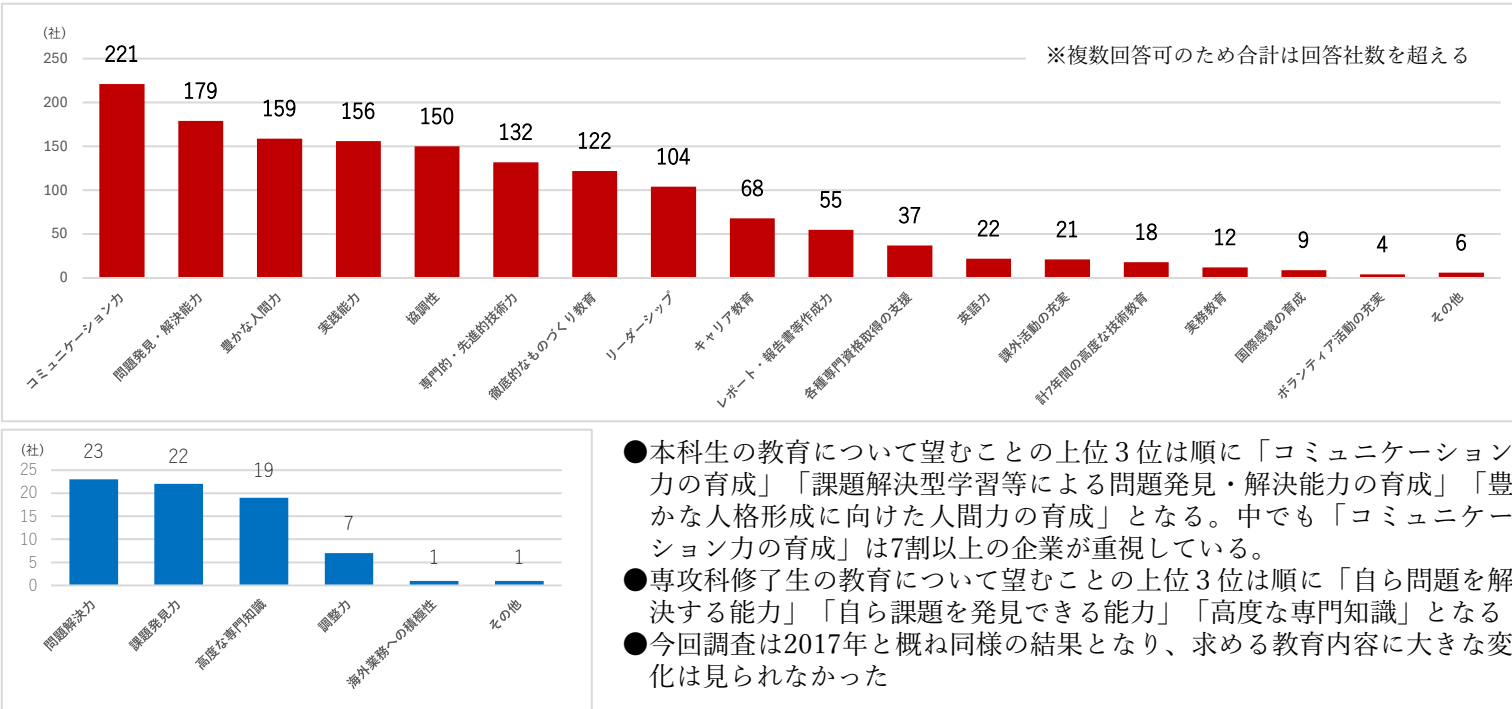


- 順序に多少の差はあるが、卒業生・修了生とも「工学技術に関する基礎知識」「勤勉さ」「学習力」「責任感」「問題解決力」「応用力・実践力」が上位に評価されている
- 英語力については企業等に評価されるよう海外体験プログラムの提供、ネイティブの外国人教員による英語科授業、英語による専攻科専門科目の実施等の対応を行っている

※各項目で「大いに重視」「重視」と回答のあった会社数の合計

本校の教育について望むこと

- ▶問題を発見し、自ら解決する経験を在学中にして欲しい



- 本科生の教育について望むこと上位3位は順に「コミュニケーション力の育成」「課題解決型学習等による問題発見・解決能力の育成」「豊かな人格形成に向けた人間力の育成」となる。中でも「コミュニケーション力の育成」は7割以上の企業が重視している。
- 専攻科修了生の教育について望むこと上位3位は順に「自ら問題を解決する能力」「自ら課題を発見できる能力」「高度な専門知識」となる
- 今回調査は2017年と概ね同様の結果となり、求める教育内容に大きな変化は見られなかった

まとめ

1. 「設計」「メンテナンス」は特に採用数が多く、今後も同様の需要が見込まれる
2. 企業からの評価及び卒業生・修了生の定着率も高い水準にあり、引き続き高い「採用意向」が認められる
3. 卒業生・修了生に対する評価や教育に望むことを踏まえると「問題を自ら発見・解決できる自律した人材」が求められている